



農業センター君



輪作と新作物でバランス改善！

◎ソバの面積と他の畑作物面積

○元々は多くなかったソバの栽培面積ですが..

- ・昭和40年代後半より農業構造改善事業で暗渠施工を進めましたが、秋施工は難しいため春施工が主でした。この工事後は「そば播種」がメインでした。
- ・また経営形態の変化も多く、ソバの面積はどんどん増えてました。結構単価の高い時も多く、概ね8千円～1万5千円の間で推移しました。

○「所得補償制度」での優遇措置

- ・「所得補償制度」の数量払いで収益は大きく変わってきました。

○当初は連作しても減収は大きくなかったのか、あまりなかったのか？

- ・以前は降雨による減収がありましたが、ここ数年温暖化の影響による高温障害が目立ってきました。そして気象の影響だけでなく、じわじわと連作の影響も見えだしています。病害よりも「雑草の発生」「土壌の保水性悪化」等が見られ、これらが収量低下を招いています。

表1 ソバの面積（幌加内町）

	面積 (ha)
S55	353
S60	767
H3	1863
H8	2210
H13	2380
H18	2576
H23	3110
H28	3397
R3	3314
R4	3221
R5	3341
R6	3313
R7	3374

表2 幌加内町の畑作物面積（本年と9年前、ha）

	R8	H29
秋まき小麦	83	45
大豆	197	101
小豆	6	—
なたね	9	—
飼料作物	168	291
そば	3180	3453
雑穀	124	—
いなきび	24	18
馬鈴薯	9	10
カボチャ	2	5
野菜	2	1
緑肥	53	3
他	20	5
	3877	3932
水稻作	461	388
計	4338	4320

◎徐々に輪作、そして休閒緑肥

- ・今年と比較しやすかった平成29年を見るとそば以外の品目で目立つのは麦・豆類・雑穀が大きく増加しています。輪作に力が入っていることに加え、大型の緑肥が試作されています。今後はさらに輪作や緑肥導入に力が入り、単位面積当たり収量が復活することは間違いありません。期待を込めて！